

4年間のカリキュラム

■ 必修科目 □ 選択科目

(2016年度入学生用カリキュラム)

1年次	2年次	3年次	4年次
身近な現代文化を知り、背景を探る	人間の行動や社会をより深く探る		興味ある現代文化をテーマに研究する
全学共通科目			
文化社会学科の学びへの入門			
<p>興味を学びに結びつける</p> <p>■ 総合科目・文化社会学I-II 現代文化のさまざまな分野で活躍中のプロフェッショナルから、現代文化の面白さとその背景を学びます。</p> <p>家族の「あたりまえ」を疑う</p> <p>■ 家族社会学</p> <p>「星の王子さま」に学ぶ現代人の生き方</p> <p>■ 現代社会学 など</p>	<p>人の行動の背景を見つめる</p> <p>文化と社会の相互関係</p> <p>■ 文化社会学概論</p> <p>都市の成り立ちと人間関係</p> <p>□ 都市社会学</p> <p>ボランティアの限界と新しい可能性</p> <p>□ ボランティアネットワーク論</p> <p>大人でも「かわいい」を求める「女子」の時代</p> <p>□ ファッション・ビューティー論</p> <p>エンターテインメントの世界-つくる・伝える・楽しむ方法</p> <p>□ エンタテインメント論</p> <p>マーケティング的思考を身につける</p> <p>□ マーケティング論 など</p>	<p>文化を通して社会を考える</p> <p>ゼミや専門科目でこれまでの学びを振り返りつつ、さまざまな現代文化を通して人間の行動や社会のしくみをより深く見つけます。</p> <p>流行と消費の文化を探る</p> <p>□ 文化社会学A</p> <p>社会学的思考の基本を学ぶ</p> <p>□ 理論社会学</p> <p>祭りと現代社会</p> <p>□ 文化社会学D</p> <p>ファッション誌に見る女性の生き方</p> <p>□ 文化メディア論D</p> <p>何でも文化遺産にしてしまう現代社会</p> <p>□ 文化社会学C</p>	<p>【卒業論文・卒業制作】自分なりの視点で一つのテーマを追う</p> <p>■ 卒業研究I-II 最も興味ある分野を選び、研究テーマを決定します。少人数のゼミで個別指導を受けながら、本や資料を読む、インタビューで生の声を集める、雑誌や新聞の記事を分析するなど、実際に調査を行い、自分なりの答えを見つけます。</p>
<p>■ 授業の流れ(毎週1回1年間)</p> <p>話を聞く → 背景を考える → 教員が解説する → 内容をまとめる</p>			
<p>社会学の技法を習得 調べ方やまとめ方など、大学での学びに必要な基礎を身につけます。 調査方法やレポートのまとめ方、発表方法など、大学での学びに必要なスキルを習得します。</p>			
<p>問題発見、報告、討論の方法</p> <p>■ 文化社会学基礎演習I-II</p> <p>観察、アンケート、インタビュー調査の方法</p> <p>■ 社会調査入門</p>	<p>インタビュー調査の実践</p> <p>□ フィールドワーク演習</p> <p>パソコンを活用した調査と発表の方法</p> <p>■ 文化社会学情報演習</p>	<p>図解とプレゼンテーションの技術</p> <p>□ マルチメディアの方法</p>	<p>卒業研究テーマ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 甲子園の持つ力～なぜ高校野球に魅了されるのか～ ● アイドルファンの社会学 アイドル文化とポキャブラリー ● スイーツの誘惑 女子の共感主義から考える ● 女性のライフスタイルとメイクの移り変わり ● ファンとの萌えおこし～アニメのファンから町のファンへ～ ● 現代のペットブームと社会的背景 ● おせち料理と近代～日常と非日常～ ● 日本災害グリーフサポート (JDGS) プロジェクトのWebサイト再編 ● Twitter上での「自分づくり」～なぜ若者はスタバツイートをするのか～ ● 現実と離れた夢の場所～ファンからみたディズニーの魅力～ ● 「橋」と「壁」としての補聴器～聴覚障害者の補聴器をめぐるジレンマ～ ● 「glee」に見る現代アメリカ文化 一除け者から人気者へ～ ● 幸福論～世界の幸福尺度から日本の幸せを見る～ ● ひとりっ子が思うひとりっ子の実態
		<p>仲間とともに興味あるテーマを追う</p> <p>■ 文化社会学演習I-II(ゼミ)</p> <p>ゼミ(演習)は受け身の講義ではなく、自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて発表する授業です。学生同士が刺激し、高めあう場です。</p>	

専門科目

※授業名は代表的なもののみ掲載しており、一部変更になる場合もあります。